

### Starlink衛星通信

つながらないがなくなるように～日常、非日常、日本全土をつなぐ～



### デジタルデバイド解消

思いがつながる喜びを、ひとりでも多くの人へ。

# 株主通信 夏号 2024年



KDDIトピライク



# 株主の皆さまへ

KDDI株式会社  
代表取締役社長 CEO  
**高橋 誠**



平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
当社は2022年5月にKDDI VISION 2030(「つなぐチカラ」を進化させ、誰もが思いを実現できる社会をつくる。)を掲げ、2030年を見据えた「中期経営戦略」を策定しました。中期経営戦略では、社会の持続的成長と企業価値の向上の好循環を目指す「サステナビリティ経営」を根幹に据え、事業戦略と、それを支える経営基盤の強化を推進しております。

一方、この数年で外部環境が急速に変化しており、足元の事業状況や今後の環境想定を考慮した結果、中期経営戦略期間を1年延長するとともに、事業戦略を「新サテライトグロース戦略」として本年5月にアップデートいたしました。

新たな事業戦略では、高品質・高信頼の「5G通信」をベースとし、「データドリブン」の実践と「生成AI」の社会実装を進めるコア事業を中心に、パートナーの皆さまとともに新たな価値を創造し、「つなぐチカラ」の進化を加速してまいります。また、コア事業と連携し、当社の成長を牽引する事業領域(Orbit1)として「DX」「金融」「エネルギー」を位置づけるとともに、新たな成長に挑戦する事業領域(Orbit2)として「モビリティ」「宇宙」「ヘルスケア」「スポーツ・エンタメ」「Web3・メタバース」の5領域を選定しました。あわせて、「To Global」「With Life」「For Future」

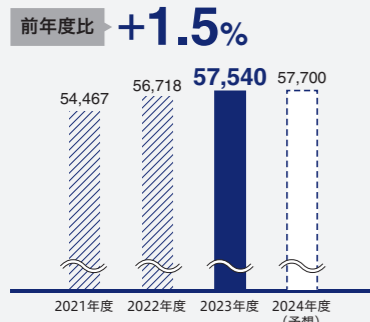
をテーマに未来への取り組みを進めることで、「お客さまに一番身近に感じてもらえる会社」、「誰もが思いを実現できる社会をつくる」ことを目指してまいります。

また、本年2月には、三菱商事株式会社及び株式会社ローソンとの資本業務提携契約を締結しました。今後3社で「AI・DX活用によるリアルテックコンビニエンス」「コンビニを起点とした新たな付加価値創出」「Ponta経済圏のさらなる拡大」を推進することで新たな価値共創に取り組み、社会の持続的成長と両社の企業価値の向上を目指してまいります。

KDDIグループは、これからも一丸となって激しい環境変化に対応し、持続的な成長を目指してまいりますので、今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



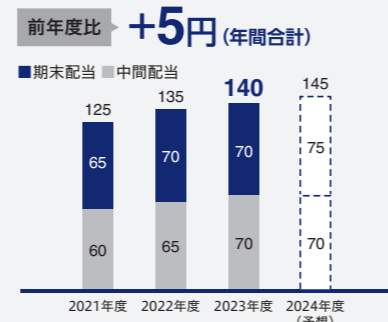
## 連結売上高\*1 (単位:億円)



## 連結営業利益\*1 (単位:億円)



## 1株当たり配当金 (単位:円)

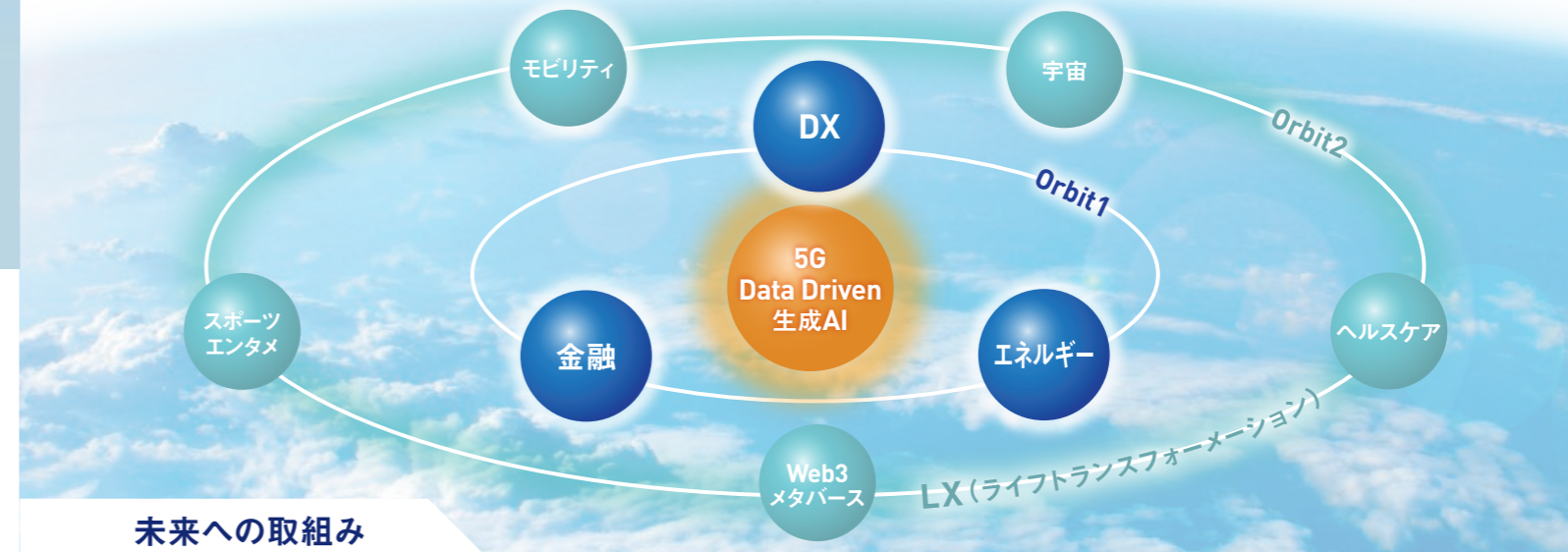


\*1 IFRSを適用しています。また、億円未満を四捨五入して表示しています。  
\*2 IFRS第17号「保険契約」を2023年度から適用しており、2022年度の実績は当該会計基準を遡って適用した後の数値を記載しております。  
\*3 ミャンマー通信事業におけるリース債権の引当や、低稼働通信設備の減損・撤去引当等による一時的な影響です。



## 特集

# 新サテライトグロース戦略について



## 未来への取組み

### To Global

グローバルへの拡大  
データセンター/IoT需要・  
新興国成長の取込み

### With Life

もっとお客さまに身近な会社へ  
お客さま接点の強化  
ケーブルテレビ・地域共創事業の推進

### For Future

未来人財・スタートアップ育成  
生きる力と専門性を  
高める機会の提供

## Coreの戦略

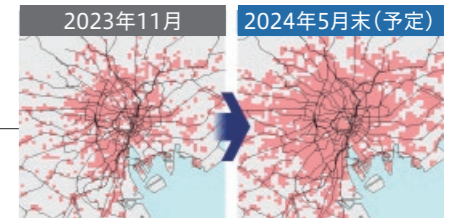
### 5G Data Driven 生成AI

### 5Gの「通信品質」と「付加価値」向上に向けた取組み

当社はお客さまの生活動線に沿って5Gエリアの構築を進めており、本年3月末時点で5Gの基地局数は業界最多\*の約9.4万局となりました。さらに本年度は衛星との電波干渉回避の対策により、首都圏を中心に5G Sub6エリアを2倍に拡大し、高速で安定した通信の提供が可能となりました。

また、auではお客さまニーズの高まりを捉え、従来から取り組んでいる人気の音楽/映像サービスとの連携に加え、データ使い放題と金融特典を組み合わせた「auマネ活プラン」の提供を2023年9月に開始しました。今後も5Gの高速・大容量通信を生かしたサービスを中心に、新たな付加価値・体験価値の提供に取り組んでまいります。 \* 国内4MNOキャリア比較。本年4月12日時点で総務省無線局等情報検索で閲覧できる免許数

エリア拡大イメージ



詳細はコチラ



### 5G Data Driven 生成AI

### 生成AIの社会実装に向けた取組み

少子高齢化による人手不足が進む中、生産性向上のためにデジタル技術を活用したビジネスモデルの変革が求められ、生成AIにおいては、日本語に最適化された汎用LLM(大規模言語モデル)や、業界・領域・個社に特化したLLMによる課題解決が期待されています。この社会背景を踏まえ、当社は本年4月にLLMの研究開発及び社会実装を牽引する株式会社ELYZA(以下、「ELYZA」)を連結子会社化しました。ELYZAは国内トップクラスのLLMの研究開発力を有しており、今後KDDIグループの資産を組み合わせることで、新たな付加価値の創出や、生成AIの社会実装を加速させてまいります。



詳細はコチラ





当社の成長を牽引する事業領域 Orbit1

DX

(デジタルトランスフォーメーション)

産業・業界別に特化したDXの取り組み推進

詳細はコチラ▶



法人事業ブランド「KDDI BUSINESS」のもと、本年5月にAIが溶け込む時代の新たなビジネスプラットフォーム「WAKONX (ワコンクロス)」を始動しました。日本のデジタル化をスピードアップするというコンセプトから生まれたブランドです。パートナー企業との共創によりモビリティや物流・倉庫など業界別プラットフォームを構築し、ソリューションとして提供します。例えば、2024年問題などを抱えている物流業界では、サプライチェーン全体の需要予測に基づき業者や地域の垣根を超えた物流の最適化を目指します。WAKONXを通じて、法人のお客さまの事業成長と社会課題の解決を支援していきます。



詳細はコチラ▶



通信とのシナジー最大化を通じた、金融事業の成長

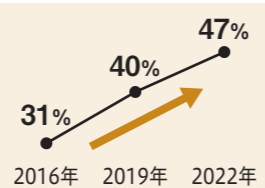
金融

資産形成に対するお客さまの関心の高まりや新NISA制度開始を踏まえ、2023年9月に提供開始した「auマネ活プラン」(通信と金融特典がセットになった料金プラン)は、大変好評をいただいております。auブランドの魅力化やau PAY カード、auじぶん銀行などの金融サービスのご利用拡大につながっています。今後も、各金融サービスの拡充とお客さま接点の拡大などを通じて、金融事業成長を加速してまいります。

通信×金融のシナジー加速

資産形成への関心の高まり

お客さまニーズを捉え、提供価値を最大化



投資経験・投資への興味\*

**au マネ活 プラン**  
使い放題MAX + 金融特典

70万契約を突破 (2024年3月末時点)

\* 出典 NRI「生活者一万人アンケート(金融編)」(2013年から2022年、3年おき)

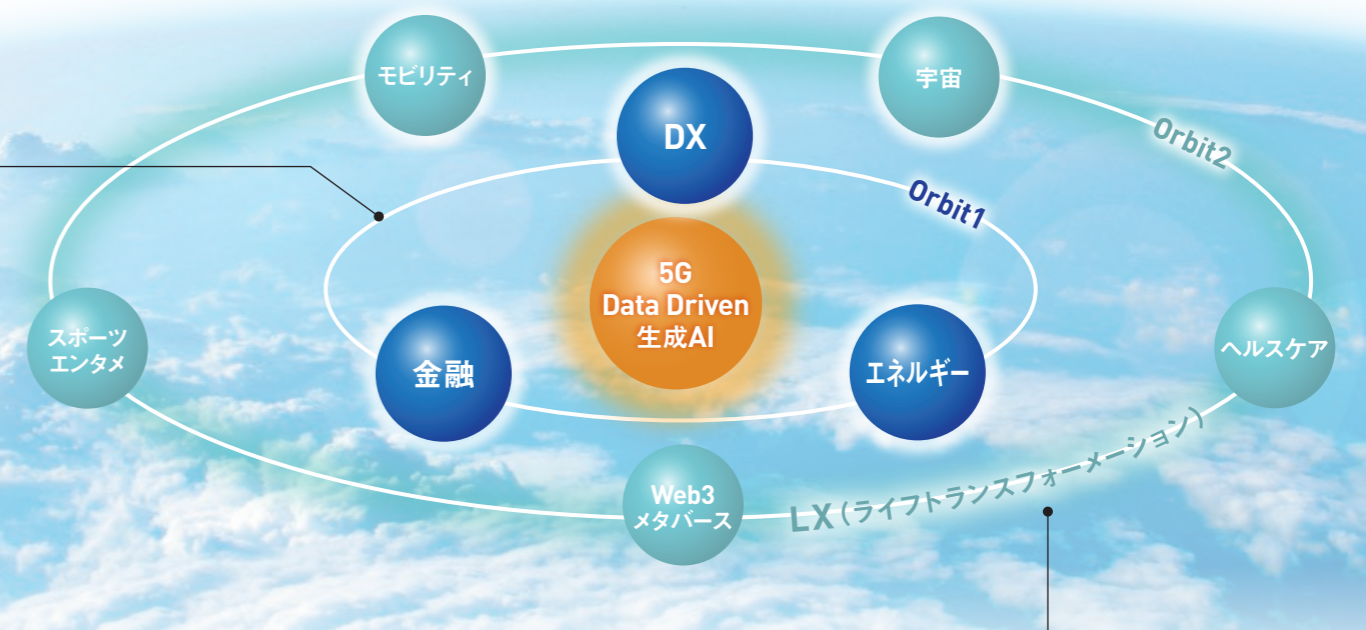
詳細はコチラ▶



エネルギー

通信とのシナジー最大化と、カーボンニュートラルへの貢献による事業成長

エネルギー事業では、本年4月より全国で「auでんき」の申込受付を再開し、通信との連携強化による付加価値の創出に取り組んでおります。また、2023年12月には、auリニューアブルエナジー株式会社が埼玉県熊谷市に太陽光発電所を開設し、関東エリアのau基地局への電力供給を開始しました。年間22億kWhを消費するKDDI設備に電力を供給するため、今後も太陽光発電所の開設を進め、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを加速していきます。



新たな成長に挑戦する事業領域 Orbit2

詳細はコチラ▶



ドローン事業拡大に向けた資本業務提携

モビリティ

人やモノ、コトが空間を自由に移動し、社会課題を解決する未来のモビリティ社会の実現のためには、ドローンの利活用が欠かせません。そこで当社は、ドローンによる監視・点検・災害対応領域のゲームチェンジャーとなるAIドローンを提供する米国のドローンメーカーSkydio, Inc. (以下、「Skydio」)と本年5月に資本業務提携を締結しました。

Skydioのプライマリパートナーとしてドローン活用・ユースケースの拡大を進め、労働人口減、インフラ老朽化など、さまざまな日本の社会課題解決に向き合い、ドローンによる解決を追求していきます。さらにAPAC\*地域へ独占提供し、フロントランナーとして新たな市場を開拓します。

資本業務提携締結

Skydioのプライマリパートナーとしてドローン市場を開拓・拡大

- ・ 国内の社会課題に向き合い、ドローンによる解決策を追求
- ・ さらにAPAC地域へ独占提供し、新たな市場開拓により事業を拡大



\* APAC: 韓国、台湾、シンガポール、モンゴル、タイ、フィリピン、ベトナム、インドネシア、マレーシア、バングラデシュ、カンボジアの11か国

宇宙

スペースXとのパートナーングの深化で「どこでもつながる」を実現

詳細はコチラ▶



2023年度は、Starlink(スターリンク)の活用を通じて多様なシーンで「つながる」環境を構築し、お客さまへの新たな体験価値の創出に取り組んでまいりました。音楽フェスなどの多くの来場者を動員するイベントでは通信環境が不安定になることが課題となっています。そこでStarlinkを活用した「フェスWi-Fi」を提供し、円滑なイベント運営のご支援を行っています。

これまでに培った知見やノウハウを生かし、スペースXとのパートナーングを深化させ、本年度はさらなる導入拡大を図りつつ、スマートフォンが直接衛星につながることで「空が見えれば、どこでもつながる」の実現を目指して、通信が溶け込む社会を支えてまいります。

「どこでもつながる」を実現

- 直接通信
- ビジネス拡大
- 海上利用

Starlinkの提供拡大

- 登山/離島
- フェス
- 自動運転
- 海運



通信が溶け込む社会を支える

写真提供: 郵船クルーズ(株)



# KDDI Sustainability

## KDDIのサステナビリティ

当社は「脱炭素社会の実現」「生物多様性の保全」「循環型社会の形成」の3つを重点環境課題として活動しています。かけがえない地球を次の世代に引き継ぐことができるよう、地球環境保護を推進することがグローバル企業としての重要な責務であると考え、豊かな地球を未来につなぐための取り組みを続けていきます。



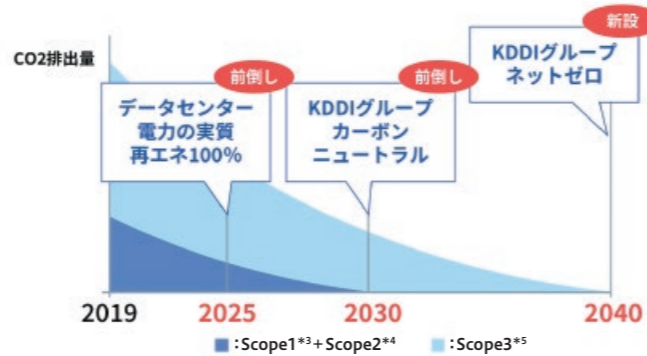
### カーボンニュートラル達成に向けた目標アップデート

詳細はコチラ ▶



脱炭素社会実現に向けた取り組みとして、2040年度末までに、Scope3を含むサプライチェーン\*1全体からのCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにする「ネットゼロ」を目指します。また、この達成に向けて、2030年度末までにKDDIグループの事業活動において、カーボンニュートラルの達成を目指すことと決めました。

加えて、当社が消費する電力に占める追加性\*2のある再生可能エネルギーの比率を2030年度末までに50%以上とすること、そして、KDDIグループが全世界に展開しているデータセンター「Telehouse」においては、2025年度末までに使用電力の100%を再生可能エネルギー由来の電力に切り替えることを目指します。



\*1 原料調達から製造、物流、販売、廃棄に至る、企業の事業活動の影響範囲全体のこと  
 \*2 企業自身が太陽光発電設備等を新たに導入することで社会全体の再生可能エネルギー導入量を増やすことにつながる効果を持つこと  
 \*3 Scope1:事業者自らによる温室効果ガスの直接排出。  
 \*4 Scope2:他者から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出。  
 \*5 Scope3:Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他者の排出)。

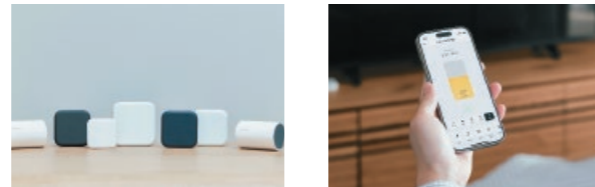


### 家庭向けエネルギーマネジメントを推進する「Nature」への出資

詳細はコチラ ▶



当社は本年2月、KDDI Green Partners Fundを通じてNature株式会社(以下、「Nature」)に出資しました。Natureは、スマートリモコン「Nature Remo」や、エネルギー機器の稼働を可視化・制御する「Nature Remo E」を提供しています。これらの製品により、お客さまは、ご自宅のエネルギー利用をより効率的に管理し、節電に取り組むことができます。当社はauでんきを展開するauエネルギー&ライフ株式会社と共にNatureとのパートナーシップを構築し、経済的でより環境負荷の低いエネルギーサービスの共創を目指します。



「Nature Remo」「Nature Remo E」 Nature Remoアプリ



### CDPの気候変動対応「最高評価:Aリスト」に2年連続認定

詳細はコチラ ▶



当社は、国際的な環境非政府組織(NGO)のCDPにより、環境先進企業として最高評価である「気候変動Aリスト」に2年連続で認定されました。当社の気候変動に対する「目標設定」「行動」「透明性」などの取り組みが評価され、環境問題に対する活動のグローバルリーダーとして認められました。さらに、企業が気候変動課題に対してどのように効果的にサプライヤーと協働しているかを評価するサプライヤー・エンゲージメント評価(Supplier Engagement Rating)においても最高ランクの評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に2年連続認定されました。



## PRESENT

# プレゼントのご案内

### 石川県復興応援

#### 1. 加賀屋総料理長監修「わっぱごはんセット」

100名さま

石川県復興応援企画として、能登半島和倉温泉「加賀屋」の「わっぱごはんセット」をプレゼントいたします。加賀屋が長年培ってきた和食の味を、ご家庭でお手軽に味わっていただける逸品です。冷凍でお届けします。



### 地域共創

#### 2. 牡蠣のオイル漬け(2瓶セット)

100名さま

当社の通信やデジタル技術を活用した地域共創の取り組みで、水産ベンチャーの株式会社リプルが徳島県海陽町の透き通った海で育て上げた逸品「あまべ牡蠣」を惜しみなく詰め込んだオイル漬けです。和洋中選ばず、どんな食卓でもお楽しみいただけます。2瓶セットでプレゼントします。



### 地域共創

#### 3. KDDIオリジナルブレンド七味(和風&洋風) 100名さま

当社では社員が業務外で地域とつながる「地域サポーター」活動を実施しています。この活動から「八幡屋磯五郎×KDDIオリジナルブレンド七味」が誕生しました。和風と洋風の2種類セットでプレゼントします。



#### 4. オリジナル焼き菓子とコーヒーのセット 50名さま

「パティスリーエドモント」が当社向けに特別開発した「オレンジ風味の焼き菓子」と、障がいのある社員が活躍する当社の企業内カフェ「café Challenged」の人気商品「コーヒードリップバッグ」をセットでプレゼントします。



#### 5. KDDI VISION 2030 文具セット 100名さま

「KDDI VISION 2030」のデザインの文房具を3点セットでプレゼントします。(A5版リングノート、キャップ式紙ペン、ポップソケット\*)  
 \*アメリカで誕生したグリップタイプのモバイルアクセサリです。



**注意事項** 【1】当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。【2】プレゼントの写真はイメージです。また、都合により内容が変更となる場合がございます。【3】アンケートには株主番号の入力欄があります。同封の配当金計算書の右上に記載がございますのでご確認ください。【4】ご回答いただいた内容は、統計情報及びプレゼントの発送のほか、株主さま向けの活動充実のためにも使用させていただく場合がございます。【5】プレゼントは2024年7月下旬に発送予定です。長期不在などによりお受け取りできなかった場合、再送はいたしかねます。

## 株主さまアンケート [アンケート実施期間] 2024年6月19日(水)～7月2日(火)

株主の皆さまの率直なご意見・ご感想をぜひお聞かせください。今後の株主通信制作などの参考にさせていただきます。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>   アクセスコード: **[9433]**

スマートフォン・携帯電話から



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

アンケートのお問い合わせ



「e-株主リサーチ事務局」

MAIL: info@e-kabunushi.com



# 24時間365日つなぐことが使命



近年、毎年のように発生する自然災害は、私たちの生活に大きな影響を与え、社会課題となっています。そのような中、ライフラインとしての通信ネットワークの役割はますます重要になっており、社会を支えるインフラ企業として、当社はいかなる状況においても24時間365日、安定した情報通信サービスを提供し「つなぐ」ことを使命としています。

本年1月に発生した能登半島地震においては、独自に開発した災害対応システムを活用して携帯電話基地局の被災状況を可視化し、通信ネットワークの迅速な復旧に努めました。自治体や自衛隊をはじめとする関係機関と連携し、避難所や基地局の早期復旧が困難な箇所にStarlinkを設置したほか、株式会社NTTドコモと共同で、船舶上に基地局の設備を設置した「船上基地局」の運用を行うなど、お客さまの通信手段確保を実現しています。また、KDDIスマートドローン株式会社では、日本航空株式会社と共同で仮設住宅の建設候補地の被害状況の把握や橋梁の緊急点検にドローンを活用し、現地の安心安全の確保に尽力しました。

今後も、当社は24時間365日お客さまの「命」「暮らし」「心」をつなげることを使命として、災害時にも通信をつなぐため、あらゆる状況を想定し、迅速に通信ネットワークを復旧できる体制・設備の強化に取り組んでいきます。

詳細はコチラ ▶



## 株主優待制度を通じた寄付のご報告

2023年度株主優待において寄付をご選択いただいた株主さま、及び期限内に商品のお申し込みがなかった株主さまのカタログギフト商品代相当額を、「キボウのカケハシ」で支援する社会貢献活動団体へ寄付をさせていただきました。多くの株主さまにご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

寄付金額 6,688,376円  
寄付実施日 2024年3月31日



キボウのカケハシは  
コチラ



## KDDI株式会社

〒102-8460 東京都千代田区飯田橋三丁目10番10号 ガーデンエアタワー  
(本店所在地：東京都新宿区西新宿二丁目3番2号)  
<https://www.kddi.com/>



本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。このPDFデータは制作した印刷物に掲載したものです。